

箕面市地域公共交通活性化協議会 ニュースレター

箕面市地域公共交通活性化協議会事務局
平成 21 年 (2009 年) 11 月 20 日発行

第 4 号

運行計画案の説明会を開催しました

協議会では、分科会(8月)でとりまとめられた運行計画(分科会)案について、審議された結果、新しいバスの運行計画案として説明会を開催し、市民の意向を把握することにしました。

説明会は、10月5日(月)から17日(土)にかけて、市内12箇所(小学校区単位)で、のべ208名の市民が出席し、これまでの検討経過、計画づくり、運行計画案(ルート、便数、車両ほか)、今後の進め方などについて説明し、様々なご意見をいただきました。

また、市民の意向を把握して運行計画の見直しの検討に活用するために、参加者にアンケートを実施しました。



巡回方向

- ・ 西部地区では、一方向を容認する意見が半数以上。
- ・ 中部地区では、一方向を容認する意見が多いが、両方向を求める意見との差は少ない。
- ・ 東部地区では、両方向を求める意見が多い。

所要時間

- ・ 西部地区・中部地区では、概ね肯定的。
- ・ 東部地区では、所要時間の短縮を求める意見が多い。

新規・廃止のルート・バス停

- ・ 西部地区・中部地区では、概ね容認。
- ・ 東部地区では、見直しを求める意見が過半数。

主な自由意見

- ・ 市民の意見を十分に聞いて、より良い計画に。
- ・ 乗りやすく、使いやすいバスに。
- ・ 路線バス・鉄道等で他のコースや手段がある場合には、行き先を削ってもよいのでは。
- ・ 今までバスが運行されていなかったもので、是非とも先のことを考えてルートを決定してほしい。
- ・ 上手く乗り継げるように、路線バスと連携して便利に使えるようにしてほしい。
- ・ 北部ルートを週に1日1便を見直すか、箕面森町線を利用した新たなバスとの乗り継ぎを実施してほしい。
- ・ 低運賃、割引運賃を導入してほしい。

など

小型車での運行

- ・ 全ての地区で肯定的な意見が多数。
- ・ 利用者が多い東部北ルート等では、積み残しが発生しないような対策が必要との意見あり。
- ・ 座席数が少ないことが不安との意見あり。

松寿荘への乗り入れ

- ・ 全ての地区で乗り入れないとする意見が多数。
- ・ 利用者が多い時間帯は乗り入れを希望する意見あり。

路線バスとの役割分担

- ・ 西部地区・中部地区では、支持する意見が多数。
- ・ 東部地区では、意見が分かれた。

第4回分科会を開催しました

実施日時：平成21年(2009年)10月30日(金)午後2時～

場 所：箕面市役所第三別館4階 大会議室

出席者：26名

内 容：運行計画案の見直しについての検討
収支(基本運賃、割引運賃等)の検討

運行計画案の見直しについての検討

運行計画案の市民説明会等での意見やアンケート結果を踏まえて、利便性の向上や運行時間の短縮、東部ルートでは、路線バス(箕面山麓線)との競合回避のための経路変更や廃止予定ルートの復活などを行った運行計画の見直し案について、検討を行いました。

運行計画案の見直しについての検討結果

ルート	検討項目	検討結果	検討事項・意見等
西部北ルート	バス停位置の変更		・平和台の道路環境(幅員等)が通行可能であれば、運行経路(バス停)の追加を検討する
西部南ルート	国道171号沿いから市役所へ短絡、箕面駅へ乗り入れ取り止め		・箕面駅方面への利用者を考慮して、市役所で乗り継げるようにする工夫が必要
北部ルート	バス停の追加、運行形態(運行の是非)	市民意向を反映した案	・週に1便だけの運行であれば、利用が困難であるので、新たなバスを運行させるのではなく、路線バスを箕面森町の住宅内に延伸させ、路線バスと新たなバス(西部・中部・東部)との乗り継ぎ割引を導入する
中部ルート	経路の変更、距離の短縮、両方向での運行	一部は 見直し前の(分科会)案 のまま	・経路がわかりやすい一方方向で運行させる
東部北ルート	路線バス競合区間の経路の変更(分離)廃止ルート(粟生間谷西周辺)の復活、経路の変更・バス停の追加、両方向での運行、箕面駅へ乗り入れ取り止め		・市役所～箕面駅間の公共公共施設へもアクセスさせたほうがよい
東部南ルート	廃止ルート(豊川住宅周辺)の復活、両方向での運行		・豊川住宅周辺の経路は東部北が担当 東部北ルートとの調整が必要

(注) 赤書きした項目については、第5回分科会にて再度検討を行うことにしました。



収支(基本運賃・割引運賃等)の検討

前提条件(運賃収入率は収入全体の35%以上、バスの利用者予測を約33万人/年、高齢者の乗車割合など)を確認した上で、基本運賃と高齢者の割引運賃については、収支の組み合わせを考慮しながら検討を行いました。

その後、高齢者以外の割引運賃や割引サービスの導入の優先順位、その他収入の方策について検討を行いました。

収支の検討結果

項目	検討結果	検討事項・意見等	
基本運賃	200円	・100円、210円、路線バスと同じ区間制を支持する意見あり	
割引運賃	高齢者	100円 (適用年齢は未決定)	・ 75歳以上と70歳以上の意見が対立している ・65歳以上、75歳以上で無料、100円以下などの意見あり ・65歳以上の利用者には、「グランドバス65」で対応するという考え方もあるとの意見あり
	小児	100円 (基本運賃の半額)	・対象は小学生(同伴の幼児以下は無料) ・同伴の幼児2人までは無料が望ましい
	障がい者	100円 (高齢者と同等)	
	その他 (優先順位)	1位 乗り継ぎ割引 (新しいバス同士)	・ 乗り継ぎ運賃はいくらに設定するのか ・乗り継ぎ券の発行方法等を工夫することが必要 ・追加料金は不要にするべきとの意見あり
		2位 回数券 (普通回数券)	・ 阪急バスの回数カードを使用できるようにするのか
	3位 定期券	・ 乗車可能な範囲をどのように設定するのか	
	(今後の検討項目)	「新しいバスと路線バスとの乗り継ぎ割引」 「1日乗車券」	
その他収入		広告、ネーミングライツ、協賛金、市内駐車場の有料化など	

(注) 赤書きした項目については、第5回分科会にて再度検討を行うことにしました。

分科会長より

運行計画案の見直しの検討については、説明会で伺った市民の意向を十分に考慮して、見直し案の検討を行うことが出来たと思います。また、収支の検討についても、熱心にご議論いただいたのではないかと思います。

なお、今回の検討結果のうち、再度検討が必要となった内容や十分に議論を詰められなかった内容については、第5回の分科会にて再度検討を行い、分科会としての運行計画案のとりまとめを行いたいと思います。

お問い合わせ

箕面市地域公共交通活性化協議会事務局 (箕面市役所 地域創造部交通政策課)
住所: 箕面市西小路4丁目6番1号 電話 072-723-2121(代表) Eメール: koutuu@maple.city.minoh.lg.jp

ニュースレターのバックナンバーは箕面市地域創造部交通政策課のホームページに掲載しています

<http://www2.city.minoh.osaka.jp/KOUTUU/home.html>